【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和1年10月17日(2019.10.17)

【公表番号】特表2018-534838(P2018-534838A)
【公表日】平成30年11月22日(2018.11.22)
【年通号数】公開・登録公報2018-045
【出願番号】特願2018-515888(P2018-515888)
【国際特許分類】
*Ｈ０４Ｗ　28/06　(2009.01)*
*Ｈ０４Ｗ　84/12　(2009.01)*
*Ｈ０４Ｗ　84/10　(2009.01)*
*Ｈ０４Ｗ　64/00　(2009.01)*
*Ｇ０１Ｓ　5/14　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　28/06　１１０
Ｈ０４Ｗ　84/12
Ｈ０４Ｗ　84/10　１１０
Ｈ０４Ｗ　64/00　１４０
Ｇ０１Ｓ　5/14

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月4日(2019.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１のワイヤレス局（ＳＴＡ）における方法であって、
前記第１のＳＴＡにおいて、５ビット以下における指数として最大出発時間（ＴＯＤ）誤差を決定することと、前記指数は、１．０７３７４１８２４ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことが可能であり、
少なくともＴＯＤフィールドと少なくとも１つの他のフィールドとを備えるファインタイミング測定（ＦＴＭ）メッセージを送信することと、前記少なくとも１つの他のフィールドが、前記指数として前記最大ＴＯＤ誤差を表す、
を備える方法。
【請求項２】
前記ＦＴＭメッセージが、第２のＳＴＡによって送信されたＦＴＭ要求メッセージの受信に応答して送信される、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記ＦＴＭメッセージが、到着時間（ＴＯＡ）フィールドと、５ビット以下において最大ＴＯＡ誤差を表す少なくとも１つの他のフィールドとをさらに備え、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０７３７４１８２４ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、請求項３に記載の方法。
【請求項５】

前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことがさらに可能である、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
第１のワイヤレス局（ＳＴＡ）であって、
ワイヤレス通信ネットワークにメッセージを送信し、前記ワイヤレス通信ネットワークからメッセージを受信するためのワイヤレストランシーバと、
前記ワイヤレス送信機に結合された１つまたは複数のプロセッサと
を備え、前記１つまたは複数のプロセッサは、
５ビット以下における指数として最大出発時間（ＴＯＤ）誤差を決定することと、前記指数は、１．０７３７４１８２４ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことが可能であり、
前記ワイヤレストランシーバを通した、少なくともＴＯＤフィールドと少なくとも１つの他のフィールドとを備えるファインタイミング測定（ＦＴＭ）メッセージの送信を開始することと、前記少なくとも１つの他のフィールドが、前記指数として前記最大ＴＯＤ誤差を表す、
を行うように構成される、第１のＳＴＡ。
【請求項７】
前記ＦＴＭメッセージが、第２のＳＴＡによって送信されたＦＴＭ要求メッセージの受信に応答して送信される、請求項６に記載の第１のＳＴＡ。
【請求項８】
前記ＦＴＭメッセージが、到着時間（ＴＯＡ）フィールドと、５ビット以下において最大ＴＯＡ誤差を表す少なくとも１つの他のフィールドとをさらに備え、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０７３７４１８２４ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、請求項６に記載の第１のＳＴＡ。
【請求項９】
前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、請求項８に記載の第１のＳＴＡ。
【請求項１０】
前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことがさらに可能である、請求項６に記載の第１のＳＴＡ。
【請求項１１】
請求項１ないし５のいずれかに記載のステップを行うために、第１のワイヤレス局（ＳＴＡ）のプロセスによって実行可能であるコンピュータ可読命令を記憶した非一時的記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９５】
[000100]現在例示的な特徴と考えられることが例示され説明されたが、請求される主題から逸脱することなく、様々な他の変更が行われ得、均等物が代用され得ることが、当業者には理解されよう。さらに、本明細書で説明された中心概念から逸脱することなく、請求される主題の教示に特定の状況を適合させるための多くの変更が行われ得る。したがって、請求される主題は、開示された特定の例に限定されず、そのような請求される主題はまた、添付の特許請求の範囲内に入るすべての態様とそれらの均等物とを含み得るものとする。
以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。
［Ｃ１］　第１のワイヤレス局（ＳＴＡ）における方法であって、
少なくとも出発時間（ＴＯＤ）フィールドと少なくとも１つの他のフィールドとを備え

るファインタイミング測定（ＦＴＭ）メッセージを送信することを備え、前記少なくとも１つの他のフィールドが、５ビット以下において最大ＴＯＤ誤差を表し、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことが可能である、
方法。
［Ｃ２］　前記ＦＴＭメッセージが、第２のＳＴＡによって送信されたＦＴＭ要求メッセージの受信に応答して送信される、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ３］　前記少なくとも１つの他のフィールドが前記最大ＴＯＤ誤差を指数として表す、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ４］　前記ＦＴＭメッセージが、到着時間（ＴＯＡ）フィールドと、５ビット以下において最大ＴＯＡ誤差を表す少なくとも１つの他のフィールドとをさらに備え、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ５］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ４に記載の方法。
［Ｃ６］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことがさらに可能である、Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ７］　第１のワイヤレス局（ＳＴＡ）であって、
　ワイヤレス通信ネットワークにメッセージを送信し、前記ワイヤレス通信ネットワークからメッセージを受信するためのワイヤレストランシーバと、
　前記ワイヤレス送信機に結合された１つまたは複数のプロセッサとを備え、前記１つまたは複数のプロセッサが、
　前記ワイヤレストランシーバを通した、少なくとも出発時間（ＴＯＤ）フィールドと少なくとも１つの他のフィールドとを備えるファインタイミング測定（ＦＴＭ）メッセージの送信を開始するように構成され、前記少なくとも１つの他のフィールドが、５ビット以下において最大ＴＯＤ誤差を表し、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことが可能である、
第１のＳＴＡ。
［Ｃ８］　前記ＦＴＭメッセージが、第２のＳＴＡによって送信されたＦＴＭ要求メッセージの受信に応答して送信される、Ｃ７に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ９］　前記少なくとも１つの他のフィールドが前記最大ＴＯＤ誤差を指数として表す、Ｃ７に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１０］　前記ＦＴＭメッセージが、到着時間（ＴＯＡ）フィールドと、５ビット以下において最大ＴＯＡ誤差を表す少なくとも１つの他のフィールドとをさらに備え、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ７に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１１］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ１０に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１２］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことがさらに可能である、Ｃ７に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１３］　第１のワイヤレス局（ＳＴＡ）であって、
　ファインタイミング測定（ＦＴＭ）要求メッセージを受信するための手段と、
　前記ＦＴＭ要求メッセージに応答して、少なくとも出発時間（ＴＯＤ）フィールドと少なくとも１つの他のフィールドとを備えるＦＴＭメッセージを送信するための手段と、前記少なくとも１つの他のフィールドが、５ビット以下において最大ＴＯＤ誤差を表し、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことが可能である、
を備える、第１のＳＴＡ。
［Ｃ１４］　前記ＦＴＭメッセージが、第２のＳＴＡによって送信されたＦＴＭ要求メッセージの受信に応答して送信される、Ｃ１３に記載の第１のＳＴＡ。

［Ｃ１５］　前記少なくとも１つの他のフィールドが前記最大ＴＯＤ誤差を指数として表す、Ｃ１３に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１６］　前記ＦＴＭメッセージが、到着時間（ＴＯＡ）フィールドと、５ビット以下において最大ＴＯＡ誤差を表す少なくとも１つの他のフィールドとをさらに備え、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ１３に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１７］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ１６に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１８］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことがさらに可能である、Ｃ１３に記載の第１のＳＴＡ。
［Ｃ１９］　第１のワイヤレス局（ＳＴＡ）のプロセスによって、
ワイヤレス送信機を通した、少なくとも出発時間（ＴＯＤ）フィールドと少なくとも１つの他のフィールドとを備えるファインタイミング測定（ＦＴＭ）メッセージの送信を開始するために実行可能である、その上に記憶されたコンピュータ可読命令を有する非一時的記憶媒体であって、前記少なくとも１つの他のフィールドが、５ビット以下において最大ＴＯＤ誤差を表し、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことが可能である、
非一時的記憶媒体。
［Ｃ２０］　前記ＦＴＭメッセージが、第２のＳＴＡによって送信されたＦＴＭ要求メッセージの受信に応答して送信される、Ｃ１９に記載の非一時的記憶媒体。
［Ｃ２１］　前記少なくとも１つの他のフィールドが前記最大ＴＯＤ誤差を指数として表す、Ｃ１９に記載の非一時的記憶媒体。
［Ｃ２２］　前記ＦＴＭメッセージが、到着時間（ＴＯＡ）フィールドと、５ビット以下において最大ＴＯＡ誤差を表す少なくとも１つの他のフィールドとをさらに備え、前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ミリ秒と同程度に大きい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ１９に記載の非一時的記憶媒体。
［Ｃ２３］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＡ誤差を表すことが可能である、Ｃ２２に記載の非一時的記憶媒体。
［Ｃ２４］　前記少なくとも１つの他のフィールドが、１．０ピコ秒と同程度に小さい前記最大ＴＯＤ誤差を表すことがさらに可能である、Ｃ１９に記載の非一時的記憶媒体。